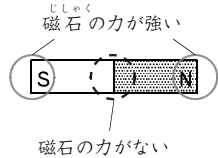


解答

- ① 問1 記号 イ ことば 不完全変態 問2 ア 問3 (1) イ (2) イ 問4 ウ
問5 イ
- ② 問1 ウ 問2 ㊦ イ ㊧ イ 問3 (1) エ (2) ウ 問4 (1) ② (2) イ
- ③ 問1 ア 問2 ア 問3 エ 問4 ㊦ 問5 ア
- ④ 問1 イ 問2 A 問3 ひまわり 問4 X A Z C 問5 エ

解説

- ① 問1・2 モンシロチョウ・アカイエカなど、さなぎの時期がある昆虫の育ち方を完全変態といい、シオカラトンボ・トノサマバッタなど、さなぎの時期がない昆虫の育ち方を不完全変態といいます。
- 問3 (1) モンシロチョウの幼虫の食草(幼虫のえさになる植物)は、キャベツ・ダイコンなどのアブラナ科の植物です。
- (2) シオカラトンボ・トノサマバッタの成虫はかむ口、モンシロチョウの成虫はストローのような吸う口、アカイエカの成虫はさして吸う口をしています。
- 問4 昆虫の胸には、あしが6本、羽が4枚ついています。後ろ羽が退化しているハエ・アブ・カの羽は2枚です。
- ② 問1 磁石の同じ極どうしは、たがいにしりぞけ合います。アルミニウムは磁石につきません。地球は、北極の方がS極、南極の方がN極の大きな磁石になっているので、自由に回転できるようにした磁石や方位磁針のN極は、いつも北を向きます。
- 問3 (図2)のようにして、棒磁石のN極で針をこすると、針の先はS極になります。
- 問4 右図のように、磁石のはしは鉄の棒を引きつけますが、磁石の真ん中には磁石の力がないので、(図4)から、②が棒磁石とわかります。
- 
- ③ 問1・2 水がまっすぐ流れているところでは、中央付近ほど流れは速くなります。流れが速いほど、みぞは深くなります。
- 問3 コップの底に砂やどろがたまったとき、つぶの大きいものほど下の方にたまります。
- 問4・5 曲がって流れているところでは、内側よりも外側の方が流れが速くなります。外側では流れる水が土砂をけずりとりはたらきが、内側では土砂を積もらせるはたらきが大ききはたらきます。このはたらきにより、川の曲がって流れているところでは、外側にがけが、内側では川原ができます。
- ④ 問4 日本では、天気は西から東に移っていくので、(表)で、Xで降っていた雨が次の日にはYに、その次の日にはZに移っていったと考えられます。したがって、Xが都市A、Yが都市B、Zが都市Cです。
- 問5 (ア)と(ウ)は夏、(イ)は冬の天気の特ちょうです。